

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
FMD News Vol.34をお届けいたします。

f facebook



8月のTOPICS

■ 心不全患者に対する低周波電氣的筋肉刺激と内皮機能について

心不全患者における心臓リハビリテーションはイベント後の身体機能の回復・運動能力の改善やQOLの改善また2次イベントの予防という観点からも大変注目されています。しかし重症患者にとっては運動療法の実施が困難な場合もあり、電気刺激を使用したりリハビリも行われております。そこで今回は、低周波電氣的筋肉刺激が内皮機能にどのような影響を与えるか調べた文献についてご紹介いたします。

NYHAクラス分類Ⅲ・Ⅳの慢性心不全患者35名を対象に二重盲検無作為試験を実施。

低周波電氣的筋肉刺激LF-EMF群 (n=20) とプラセボ群 (n=15) に振り分け、介入前後に血管内皮機能 (FMD) および最大酸素摂取量 (peak VO₂) を測定した。

介入期間は8週間 (5×60分/週) とし、LF-EMS群は連続4Hzの低周波電気刺激、プラセボ群は皮膚レベルの刺激をそれぞれ大腿四頭筋およびハムストリングにおこなった。

FMD改善度は、LF-EMS群で2.79%、プラセボ群で1.26% (P=0.075) と両群間に統計学的有意差は見られなかったものの改善傾向があったのに対し、peak VO₂は両群間において変化は見られなかった。

FMDの改善は生命予後の改善との関連が報告されており、LF-EMSを用いた治療による血管内皮機能の改善は臨床的にも効果が期待される。今回は予備試験であり、今後、より大規模な試験が必要である。

引用元: ESC Heart failure(2018)DOI:10.1002/ehf2.12293

■ 8月学会のご案内

8月には下記学会にて機器展示をおこないます。皆様のご来場をお待ちしております。

第59回日本人間ドック学会学術大会

会 期：8月30日 (木) ・31日 (金)

会 場：朱鷺メッセ (新潟県新潟市)